

【地方と都市、人と人をつなぐマルシェ】

福岡・博多と聞くと多くの人が都市部、屋台（夜）をイメージするのではないだろうか。そこで、都市部の公園等で市場を開催することで新たな福岡のイメージを構築したい。実際に、地元の店には福岡産の野菜や魚などの食材が多く存在し、福岡は特産品も多い。それらを活用して、福岡の新しい一面、都市と地方をつなげるまちづくりとして以下を提案する。

「都市中心部の公園や駅前の広場で開かれるマルシェ。

採れたての野菜、新鮮な魚、自家製のベーコン・パン・ジャム…地方や郊外の生産者が自慢の品を販売。

普段は交流のない生産者と都市部の消費者が直接顔を合わせ、やり取りをする空間が広がり、地産地消の促進だけでなく人と人とのつながりが生まれる。

つながりの希薄になりがちな都市の真ん中で

「ありがとう」、「おいしかったよ」

そんな言葉が生まれる活気と笑顔に満ちたまちづくり。」